

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

2025年11月12日

2026年3月期 第2四半期連結決算概要

2025年度2Q実績

- 船内作業および欧米における取扱いは減少したが、沿岸作業および航空貨物取扱いの増加により増収 ↑
- 受取配当金および持分法投資利益の増加により経常利益以下増益 ↑

2025年度通期予想

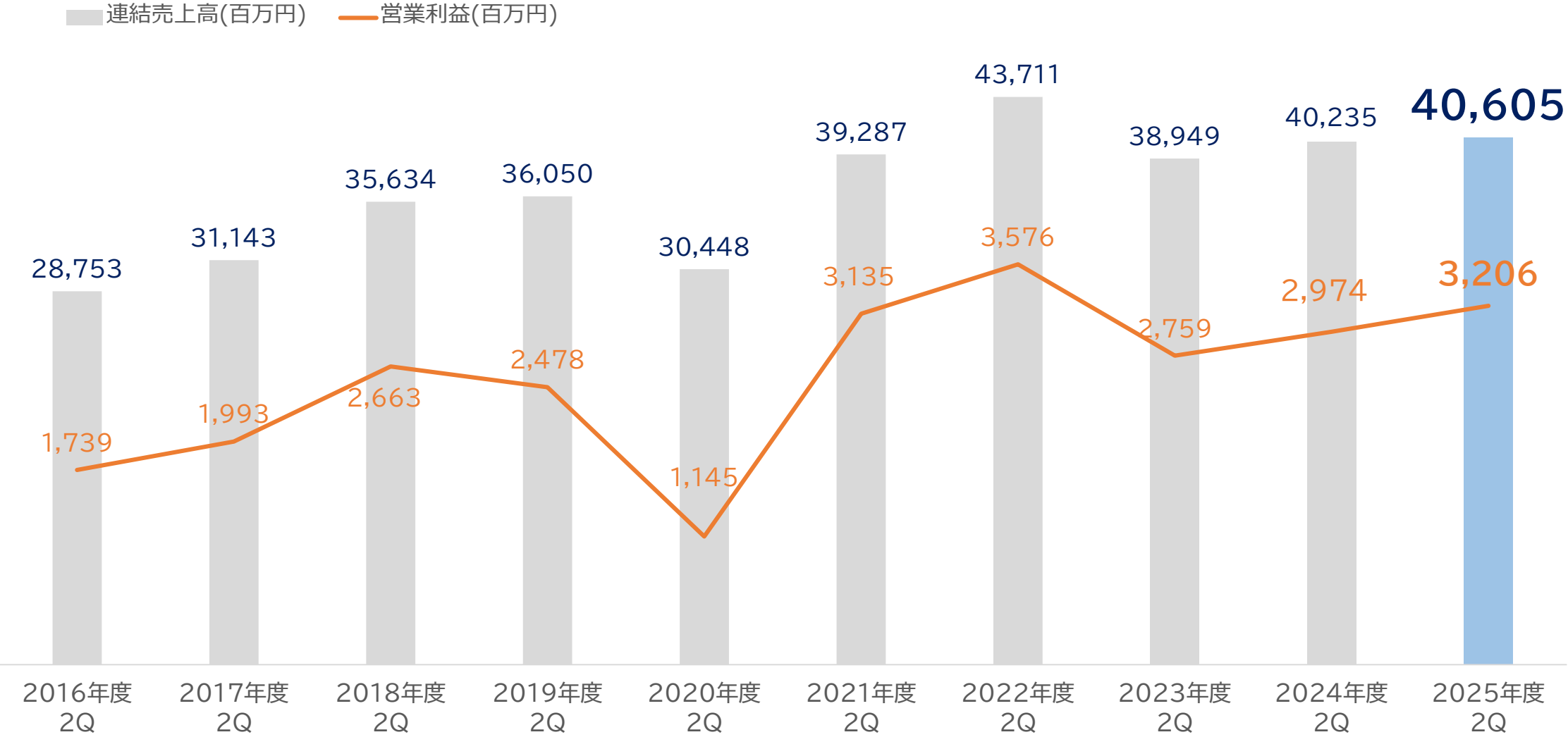
- 利益は堅調も、通商政策や地政学リスク等、不透明な情勢が継続するため通期予想は据え置く

	2024年度 2Q		2025年度 2Q		増減		2025年度 通期予想	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	増減率	金額 (百万円)	進捗率
■ 売上高	40,235	100.0%	40,605	100.0%	+ 369	+ 0.9%	81,000	50.1%
■ 営業利益	2,974	7.4%	3,206	7.9%	+ 232	+ 7.8%	5,900	54.3%
■ 経常利益	3,858	9.6%	4,264	10.5%	+ 406	+ 10.5%	7,500	56.9%
■ 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	2,483	6.2%	2,899	7.1%	+ 416	+ 16.8%	5,200	55.8%

部門別売上高および主な増減要因

セグメント	部門名	2025年度2Q（前年同期比）	主な増減要因	（単位：百万円）
港湾運送 および その関連	港湾運送部門	24,451（△85 / △0.4%）	- 沿岸作業、アジア地域での貨物取扱いが好調 - 船内作業、欧米での貨物取扱いが低調	
	倉庫保管部門	4,740（△448 / △8.6%）	国内外ともに保管貨物の減少	
	陸上運送部門	6,248（+254 / +4.2%）	国内輸送の取扱いが増加	
	航空貨物運送部門	2,083（+495 / +31.2%）	輸出入ともに取扱いが増加	
	その他の部門	2,255（+199 / +9.7%）	タンク事業等の取扱いが増加	
		39,779（+415 / +1.1%）		
賃貸		806（△64 / △7.4%）	倉庫賃貸面積の減少	
その他		18（+18 / －）		

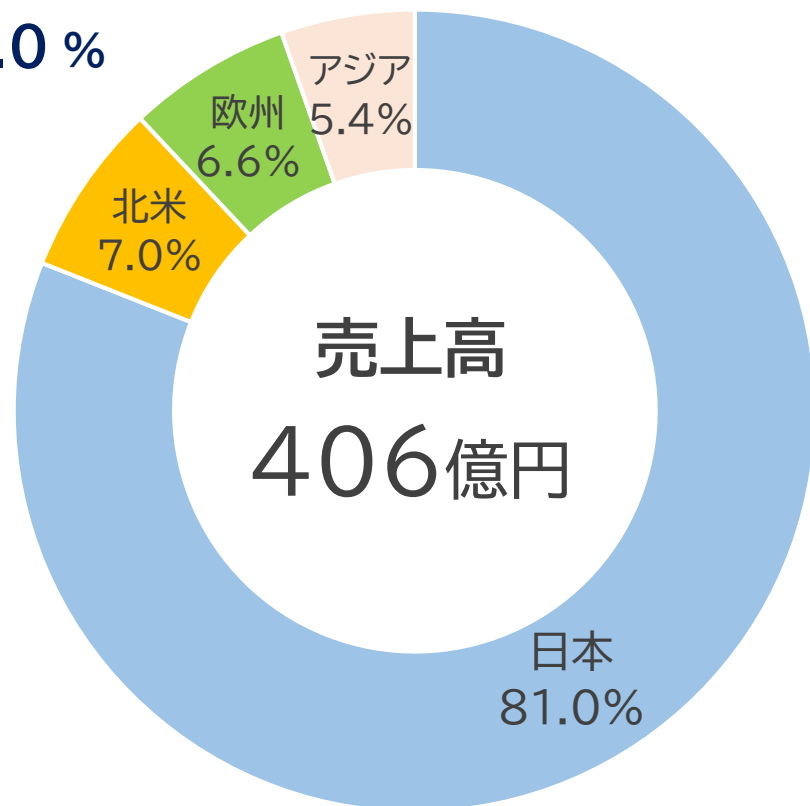
連結売上高および営業利益の推移



連結業績 エリア別割合

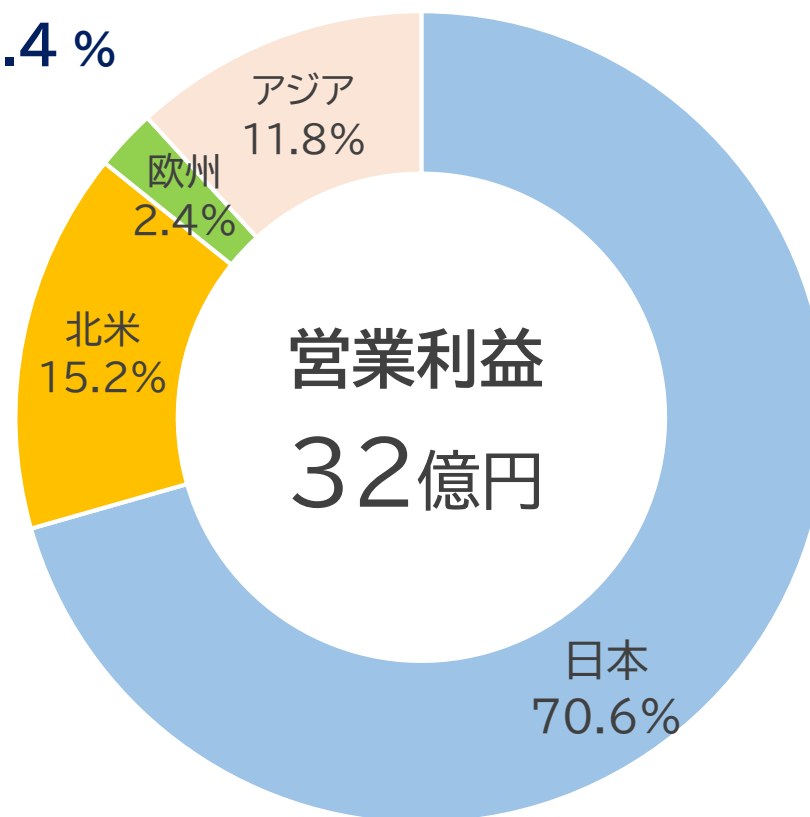
海外割合

19.0 %



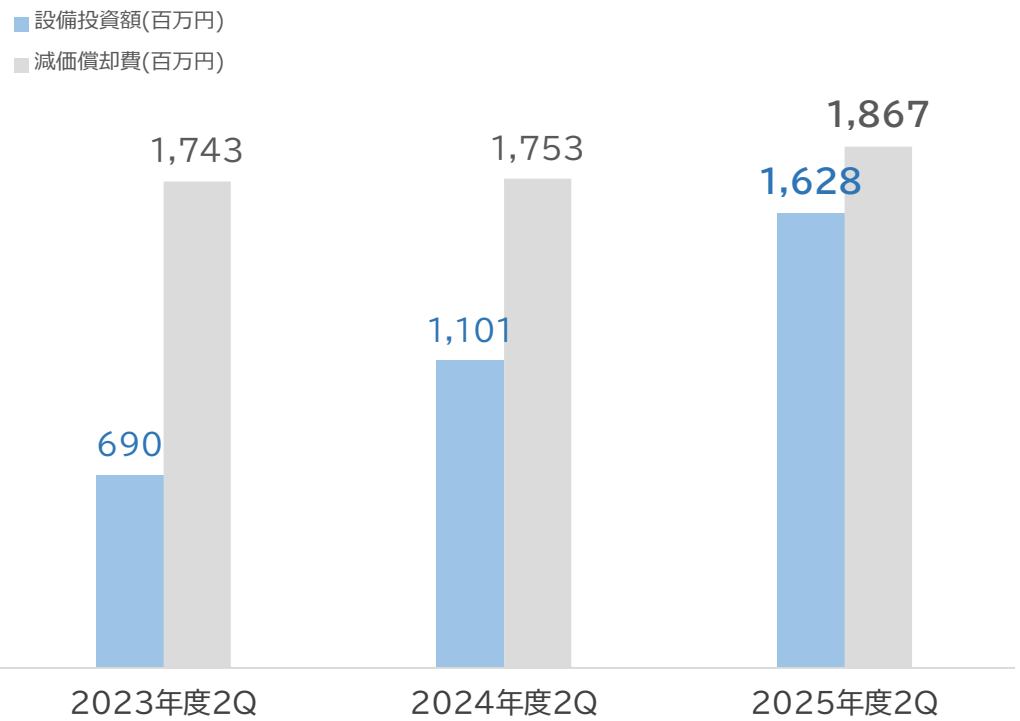
海外割合

29.4 %

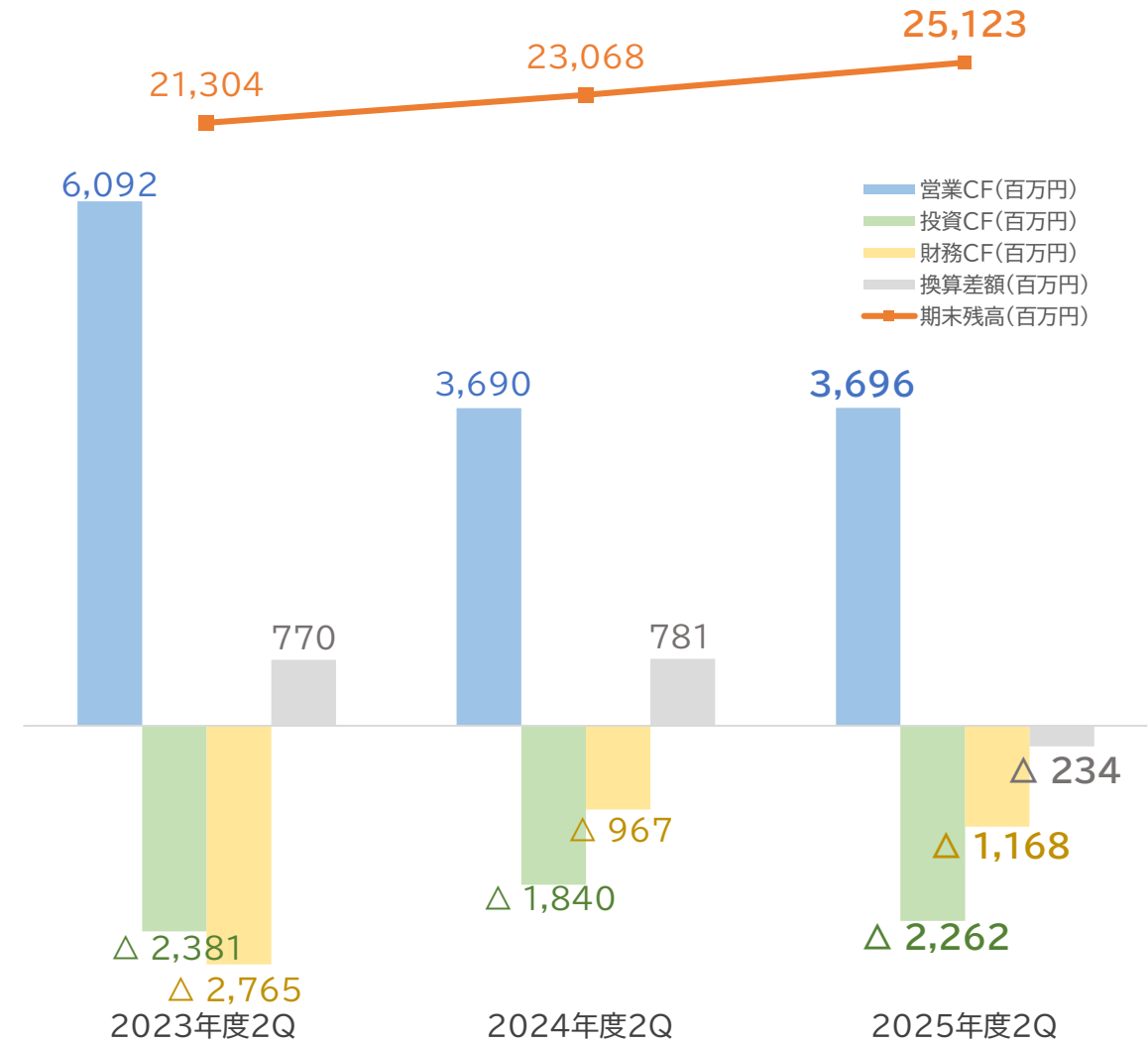


設備投資の推移

- 大型投資案件の一巡により、一服感はありますが、引き続き、名古屋港東側エリアの創業期からの倉庫の再編や顧客ニーズを捉えて海外や内陸拠点の拡充を図っていきます
- 施設新設時には当社のサステナビリティ方針に基づいて、環境への配慮とBCP体制強化に取り組んでまいります

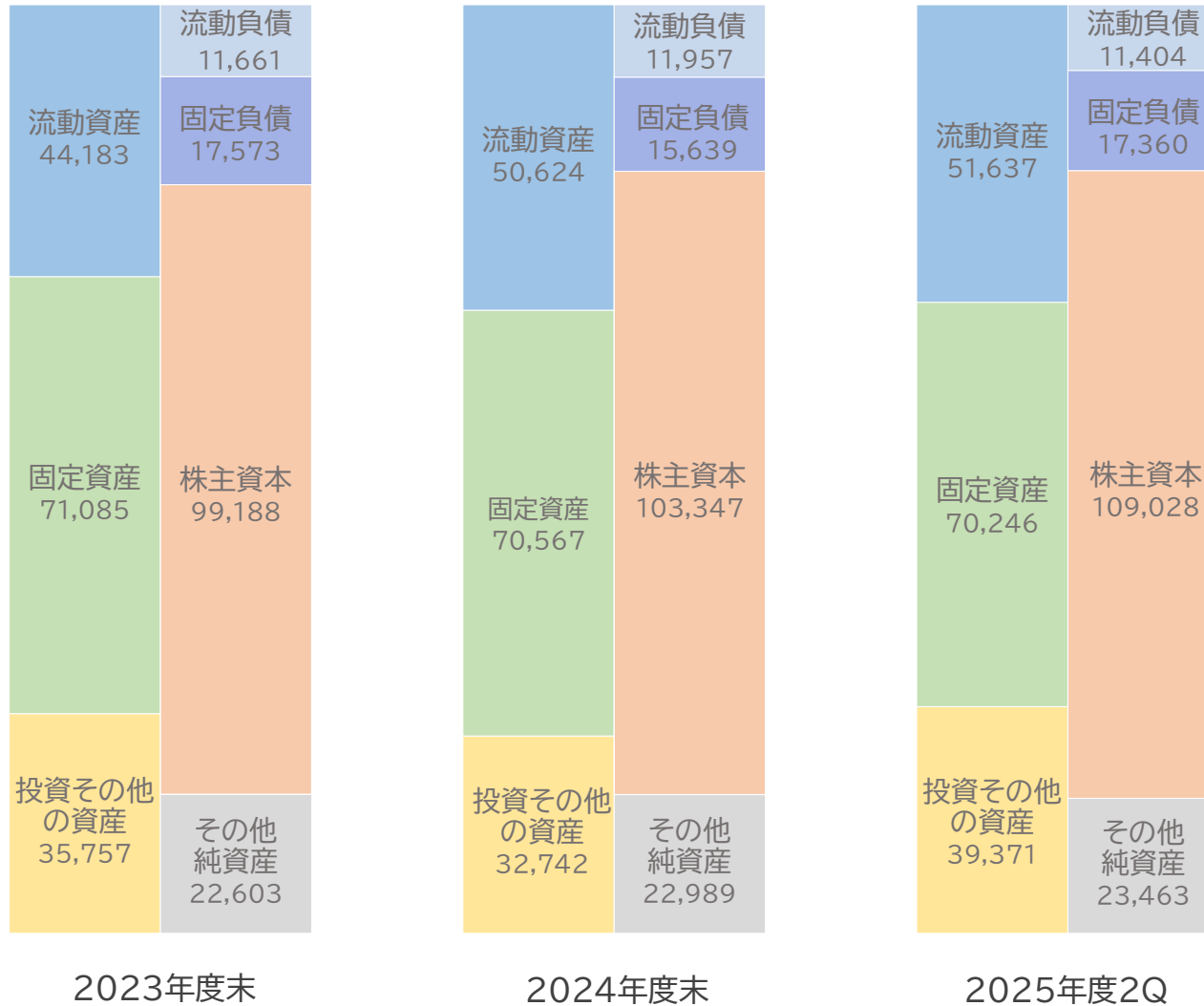


連結キャッシュ・フローの推移



連結貸借対照表の推移

(単位:百万円)



2024年度末と2025年度2Qの比較

(主な変動要因)

流動資産

- ・ その他の流動資産の増加 (+386)
- ・ 現金及び預金の増加 (+348)
- ・ 受取手形及び売掛金の増加 (+327)

固定資産

- ・ 建設仮勘定の増加 (+847)
- ・ 建物及び構築物の減少 (△798)
- ・ 機械装置及び運搬具の減少 (△157)

投資その他の資産

- ・ 投資有価証券の増加 (+6,782)

固定負債

- ・ 繰延税金負債の増加 (+2,171)

株主資本

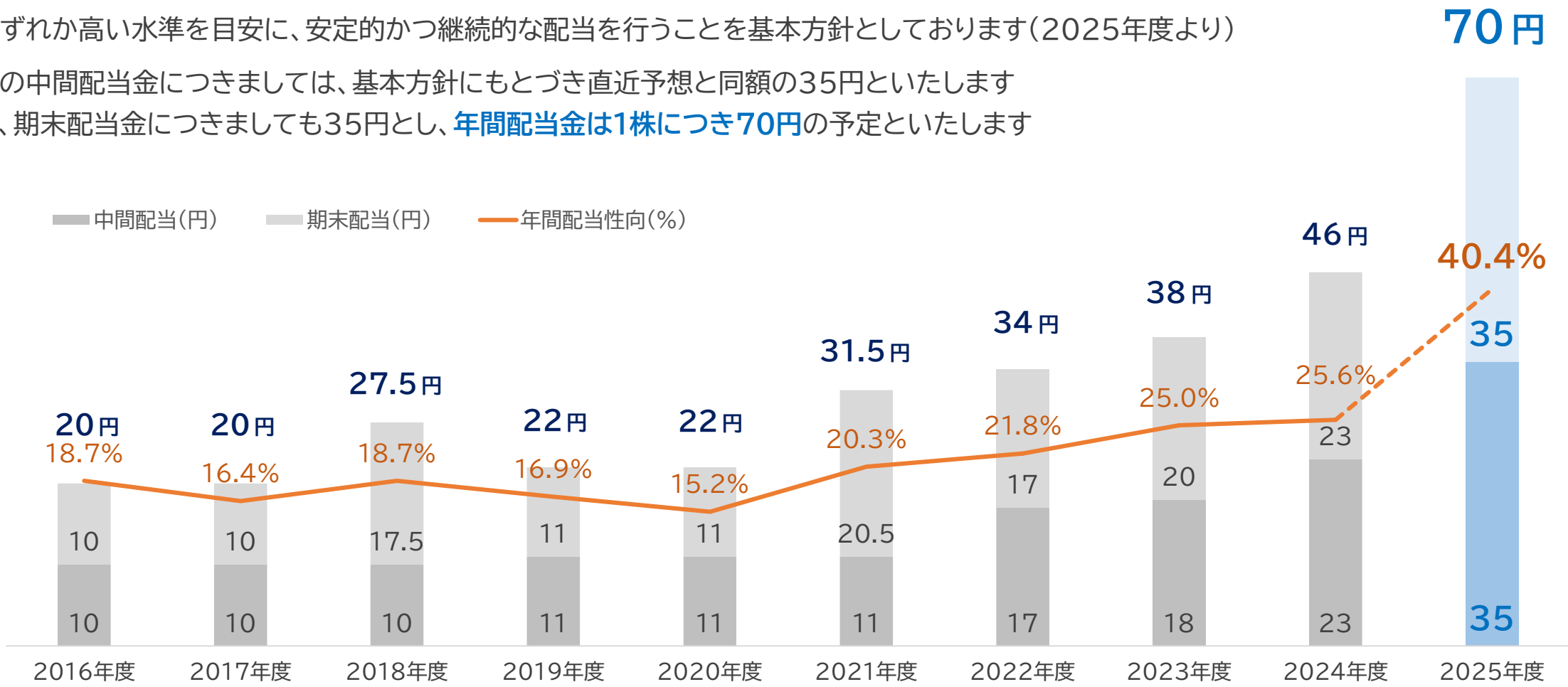
- ・ 利益剰余金の増加 (+5,616)

その他純資産

- ・ その他有価証券評価差額金の増加 (+4,528)

配当金および配当性向 推移

- 当社グループは、株主の皆様への利益還元が経営上の重要課題の一つと認識しており、将来の事業展開や設備投資、大規模災害への備えとして内部留保の充実を図りつつ、**配当性向40%、DOE(株主資本配当率)2%**のいずれか高い水準を目安に、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております(2025年度より)
- 当期の中間配当金につきましては、基本方針にもとづき直近予想と同額の35円といたします
また、期末配当金につきましても35円とし、**年間配当金は1株につき70円**の予定といたします



※2025年度の期末配当、年間配当性向は予想値

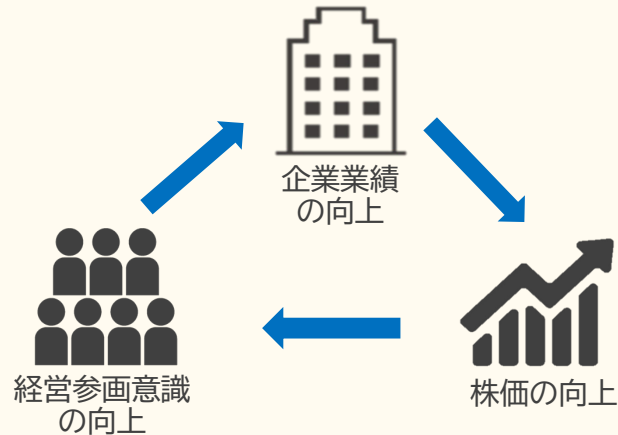
その他 トピックス

従業員向け株式報酬制度の導入

中期経営計画「MX2029」の実現を加速するため、本年6月、当社および主要子会社の従業員を対象とした株式報酬制度を導入しました。

本制度は、従業員が当社の株価上昇による経済的な利益を直接享受できるインセンティブ・プランです。これにより、日々の業務遂行において**企業業績と株価向上への意識**を高めます。

単なる福利厚生の拡充に留まらず、**従業員の経営参画意識を高め、中長期的な企業価値向上**を図ってまいります。



国際会議の開催

本年5月、海外現地法人の責任者およびナショナルスタッフ幹部が一堂に会して国際会議を開催しました。

中期経営計画「MX2029」の共有を通じて、**グローバルネットワークの連携強化と一体感の醸成**を図り、海外事業の更なる拡大を推進してまいります。



上場来高値の更新

当社の株価は2025年6月に**上場来高値を更新**いたしました。

これは、1989年10月以来、約36年ぶりに従来の最高値(1,800円)を上回るものであり、中期経営計画推進への期待の表れと認識しております。

引き続き、**株価を意識した経営を推進し、企業価値向上**に努めてまいります。

【ご注意】

当資料は、名港海運株式会社(以下、「当社」という)へのご理解を深めていただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載されている将来にわたる事項については、2025年11月12日現在において入手している情報に基づいて、当社が予測および判断したものであり、様々なリスクや不確定要素に左右され異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。当社は、これら将来にわたる事項について、内容の確約・保証および情報を訂正する一切の義務を負いません。

投資・その他のご判断については、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

TOTAL LOGISTICS PARTNER

